

保存修復技術の国際的応用に関する研究 (コ03)

目 的 文化遺産保護に関して諸外国が有する問題は、それぞれの地域、環境に応じて多種多様であり、それらへの対応には他国で実績のある既存の手法をそのまま適用することが必ずしもできない。そこで、本プロジェクトでは文化遺産の現地における持続可能な保存・修復・活用のための維持管理を目標に、各国における問題を分析し、現地の実情に即した修復技法、材料を研究するとともに、当研究所を中心に諸外国の専門家ネットワークを構築し、意見交換、技術移転をすることで、現地担当者の育成を図る。

- 成 果**
1. サザンスイス応用科学大学との共同研究に関する打ち合わせ (2018(平成30)年4月19日～29日)
 2. ミャンマー・バガン遺跡における寺院壁画の保存に向けた外壁調査と保存修復方法の研究
 - ア) 煉瓦造寺院 (Me-taw-ya 寺院) の外壁調査と保存修復方法の研究 (2018(平成30)年7月11日～8月5日) (2019(平成31)年1月14日～2月3日)
 - イ) 考古国立博物館局バガン支局職員を対象にしたワークショップの実施
 - ◆ワークショップテーマ
 - A: 煉瓦造寺院外壁の保存修復 (2018(平成30)年7月16日～31日) (2019(平成31)年1月18日～30日)
 - B: 地震被災箇所の応急処置 (2019(平成31)年1月18日～25日)
 - C: 壁画保存修復 (2018(平成30)年7月16日～31日) (2019(平成31)年1月18日～30日)
 3. バガン王朝期における壁画技法と図像学に関する調査 (2018(平成30)年7月14日～23日) (2019(平成31)年1月16日～23日)



地震被災箇所の保存修復



壁画技法と図像学に関する調査風景

論 文・Maria Letizia Amadori, Paola Fermo, Valentina Raspugli, Valeria Comite, Francesco Maria Mini, Yoshifumi Maekawa, Mauro La Russa: "Integrated scientific investigations on the constitutive materials from Me-taw-ya Temple, Pagán Valley, Burma (Myanmar)" *Journal of the International Measurement Confederation* Volume 131, 19.1

発 表・Yoshifumi Maekawa: "Il progetto in corso di Tokyo National Research Institute for Cultural Properties" *University of Applied Sciences and Arts of Italian Switzerland* 18.4.26

・鳴原由美、前川佳文「ミャンマー・バガン考古遺跡群における壁画保存修復に向けた調査研究—美術史的・技法的視点による壁画調査—」文化財保存修復学会第40回大会 18.6.17

・鳴原由美、前川佳文「ミャンマー・バガン考古遺跡群における壁画の保存管理に関する調査」日本文化財科学会第35回大会 18.7.7-8

刊行物・『ミャンマー・バガン遺跡における煉瓦造寺院外壁の保存修復および壁画調査 平成30年度成果報告書』東京文化財研究所 19.3

研究組織 ○加藤雅人、前川佳文、増渕麻里耶(以上、文化遺産国際協力センター)、鳴原由美(保存科学研究センター)